

# Canvas DRAW 5 for Mac

## ビルド 51 リリースノート

### 改善事項

- 新規ビュー（レイアウト>ビュー）を選択し「現在のページおよびレイヤー情報も保存」のチェックをはずした状態で OK ボタンを押すと現在のページおよびレイヤー情報が無視されます。

### 解決した問題

- 反転したオブジェクトに楕円状のグラデーションインクを適用し印刷しようとする正しく印刷されない問題が解決しました。
- 前もってプロパティバーのアノテーションツールでラベルテキストを編集できない問題が解決しました。
- Canvas Draw で保存した DWG/DXF ファイルが AutoCAD で正しく開かない問題が解決しました。
- プロパティバーの「統合」ボタンが最後に使用した内容に更新されない問題が解決しました。
- 表オブジェクトがロックされているにもかかわらずセルの余白を変更できてしまう問題が解決しました。
- 属性パレットのグラデーションマネージャのポップアップカラーパレットに最近使用した単色インクが表示されない問題が解決しました。
- macOS Mojave で起動している場合テキストメニューのフォントを表示パレットを選択すると、フォント名称が 2 度表示されてしまう問題が解決しました。
- macOS Mojave で起動している場合ツールボックスのポップアップカラーパレットで最近使用したインクセットがリフレッシュされない問題が解決しました。
- イメージのインポート時におけるセキュリティの脆弱性に関連した問題が解決しました。

- 2 GB 以上の CVD ファイルを開くことでプログラムがクラッシュしてしまう問題が解決しました。
- プロパティバー上のフォントサイズドロップダウンリストが表示された状態でドキュメント内をマウスポインタで動かすとプログラムがクラッシュしてしまう問題が解決しました。

## サポートされているファイル形式

### 読み込み：

AI, BMP, CAL, CGM, CNV, CV5, CVDRAW, CVDTPL, CVI, CVS, CVX, DWG, DXF, EPS, GIF, ICO, IFF, JPG, PCD, PCX, PDF, PNG, PRN, PS, PSD, RTF, TGA, TIF, TPL, TXT, WBMP

### 書き出し：

BMP, CAL, CGM, CVD, CVDTPL, DWG, DXF, GIF, HTM, ICO, IFF, JPG, PCX, PDF, PNG, PSD, SVG, SVGZ, TIF, WBMP

## 既知の問題

- パスメニュー→スムーズのショートカットキーが変更しました。新しいショートカットキーは option+command+A となります。
- 最初に起動する際テキストメニュー→フォントまたはプロパティバー上のフォントドロップダウンメニューをクリックすると、フォントグリフのプレビューが生成される為若干時間がかかる場合があります。
- 書式パレットでは「標準」「太字」「イタリック」スタイルアイコンは使用できません。
- 以前の Canvas バージョンで (Mac/Win) 書式パレットから作成した文字や段落スタイルは Canvas Draw 5 と互換性がありません。
- Canvas/Canvas X Windows 版で作成したスライドドキュメントの[画面切り替え]には対応していません。切り替えの名称は“不明”と言う形で表示されます。
- PDF - Adobe® Acrobat® (Advanced)への書き出しは Postscript Type 1、Dfonts、和文フォントを使用して入力したテキストをパスへ変換します。これは[フ

フォントの埋め込み]で[フォントサブセットを埋め込み]を選択しても同様の結果となります。これら PDF ファイルの表示やプリントは問題ありません。

- ヘルプメニューの Canvas Draw ヘルプを閲覧するにはインターネットアクセスが必要です。オフラインでは閲覧できません。PDF 形式のヘルプファイルをダウンロードするには[こちら](#)をクリックしてください。

## サポートされていない事項

- macOS Mojave のダークモードは完全には対応していません。
- ダイナミックシャドウは SpriteEffects 効果より削除されました。
- 自動ハイフンには対応していません。
- ドロップキャップ機能には対応していません。
- パスでカット機能は 16 ビット/チャンネルもしくは FP-32 ビット/チャンネルの画像には対応していません。

## ビルド 37 リリースノート

### 新機能

- 表ツールが追加された事により行と列からなる表オブジェクトを作成できます。各セルにテキストを入力、セルの背景色を適用、線を部分的に削除、セルの結合等ができます。
- 効果メニュー>ダイナミック効果が追加されました。ダイナミック効果は、「影」、「反射」、「光彩」、「ぼかし」があります。効果を適用するオブジェクトの形状、サイズの変更に合わせて適用された効果の形状、サイズが自動的に変化する特殊効果です。
- レイアウトメニュー>スマート吸着が追加されました。スマート吸着はオブジェクトを配置、整列、サイズ変更する際に役立つ補助機能です。
- SVGZ ファイルへの書き出しに対応しました。
- Touch Bar に対応しました。(Touch Bar が搭載されている Mac のみ) タップ、スワイプ、スライドなどのジェスチャーを Canvas Draw 上で操作することができます。スライダー、不透明度、回転などの操作も可能です。

- 書式パレットにスタイルタブが搭載されました。テキストの書式を設定し、文字や段落スタイルとして保存しておくことができます。保存した書式スタイルファイルを他の Canvas Draw ユーザーと共有することもできます。

## 改善事項

- グリッドとガイド設定ダイアログへのアクセスが改善しました。
- ガイドのカラーはグリッドとガイド設定ダイアログから変更することができるようになりました。
- 環境設定 > 選択範囲に「1000 以上のオブジェクトが選択された場合でも各境界線枠を表示」が追加されました。
- SVG ファイルへ保存する際、イメージの埋込みに対応するようになりました。
- DWG/DXF ファイルへ保存する際、別名で保存ダイアログボックスの「選択範囲を保存」オプションを選択して保存できるようになりました。
- ダイナミック効果チェックボックスが追加されました。追加された場所は、プロパティバー、ペースト属性ダイアログボックス、検索ダイアログパレットです。
- 角丸四角形のコーナー半径はオブジェクトをリサイズすると同時に比例してリサイズされるようになりました。
- コンポジットオブジェクトを検索する際、検索パレット > オブジェクトタブ > 種類からコンポジットオブジェクトアイコンを選択することで検索ができるようになりました。
- テキストメニュー > スタイルからスモールキャップスが選択できるようになりました。
- ドキュメントレイアウトパレットのパレットメニューに [ページを複製] が追加されています。[レイアウト] > [シート] > [シートを複製] からアクセスすることもできます。
- SpriteEffects 効果の「ダイナミックシャドー」が削除されています。代わりにダイナミック効果の「影」を使用できます。

## 解決した問題

- 自動寸法で面積を測定する際、単位がデフォルトでドキュメントに設定されている場合、単位が表示されない問題が解決しました。
- 検索機能でカンマやピリオドの隣に位置する単語が検索されない問題が解決しました。
- スマートクオートの使用が適用されているとクオートの隣に位置する単語が検索されない問題が解決しました。
- 縦ルーラーを option+ドラッグで引き離れた際、値が 0 からはじまらない問題が解決しました。
- イメージ形式でファイルを保存した際、SpriteEffects 効果を適用したオブジェクトが他のオブジェクトで隠れている場合間違ったかたちでレンダリングされる問題が解決しました。
- High Sierra 上で起動している際、スライドショーを終了すると大きな白紙のスクリーンが表示される問題が解決しました。
- shift+control+command+3 もしくは 4 を押しながらスクリーンをキャプチャした後、command+V でペーストするとペーストされない問題が解決しました。
- 吸着オプションを使って描く際、中央と消点が認識されなかった不具合が解決しました。
- ハイパーリンクを含むドキュメントを SVG 形式で保存するとクラッシュする問題が解決しました。
- 属性スタイルパレットで矢印ヘッドを丸にしたカスタム矢印を作成する際、クラッシュする問題が解決しました。
- ダイアログボックス内のアンチエイリアスのチェックをはずすとクラッシュする問題が解決しました。

## サポートされているファイル形式

### 読み込み：

AI, BMP, CAL, CGM, CNV, CV5, CVDRAW, CVDTPL, CVI, CVS, CVX, DWG, DXF, EPS, GIF, ICO, IFF, JPG, PCD, PCX, PDF, PNG, PRN, PS, PSD, RTF, TGA, TIF, TPL, TXT, WBMP

## 書き出し：

BMP, CAL, CGM, CVD, CVDTPL, DWG, DXF, GIF, HTM, ICO, IFF, JPG, PCX, PDF, PNG, PSD, SVG, SVGZ, TIF, WBMP

## 既知の問題

- パスメニュー→スムーズのショートカットキーが変更しました。新しいショートカットキーは option+command+A となります。
- 最初に起動する際テキストメニュー→ フォントまたはプロパティバー上のフォントドロップダウンメニューをクリックすると、フォントグリフのプレビューが生成される為若干時間がかかる場合があります。
- 書式パレットでは「標準」「太字」「イタリック」スタイルアイコンは使用できません。
- 以前の Canvas バージョンで (Mac/Win) 書式パレットから作成した文字や段落スタイルは Canvas Draw 5 と互換性がありません。
- Canvas/Canvas X Windows 版で作成したスライドドキュメントの[画面切り替え]には対応していません。切り替えの名称は“不明”と言う形で表示されます。
- PDF - Adobe® Acrobat® (Advanced)への書き出しは Postscript Type 1、Dfonts、和文フォントを使用して入力したテキストをパスへ変換します。これは[フォントの埋め込み]で[フォントサブセットを埋め込み]を選択しても同様の結果となります。これら PDF ファイルの表示やプリントは問題ありません。

## サポートされていない事項

- 自動ハイフンには対応していません。
- ドロップキャップ機能には対応していません。
- パスでカット機能は 16 ビット/チャンネルもしくは FP-32 ビット/チャンネルの画像には対応していません。